

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年5月11日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年5月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【洗濯廃液タンク水位記録計の記録紙送り不良について】 当直員がパトロール時に、洗濯廃液タンク水位記録計の記録紙送り不良を確認。記録計を送る装置内部の不具合と推定。 当該記録計のアナログ指示値については確認可能。 当該記録計は洗濯廃液タンク(A)(B)を監視しているが、タンク入口の閉止処置を施しているため流入することが無く設備への影響なし。 当該記録計は廃盤のため、運転部門と協議し今後の対応を検討。</p>	GⅢ	5月1日
2	<p>【既設多核種除去設備逆洗ポンプ2の吐出側逆止弁動作不良について】 当直員が、既設多核種除去設備逆洗ポンプの月例切替のため、逆洗ポンプ1を起動後、逆洗ポンプ2を停止したところ、逆洗ポンプ2の逆転(※)を確認。 調査のため逆洗ポンプ2の吐出弁を全閉したところ、逆洗ポンプ2の逆転が停止したことから、逆洗ポンプ2の吐出側逆止弁の動作不良と判断。 逆洗ポンプ1ラインを使用しているため既設多核種除去設備運転に支障なし。 逆洗ポンプ2の吐出側逆止弁を打診、および、逆洗ポンプ2の吐出弁の開閉操作を実施したが、動作不良継続中。 今後、点検・修理予定。</p> <p>※逆転:逆洗ポンプを停止したにも関わらず、停止せず、本来の回転する方向とは逆方向に回転している状態</p>	GⅢ	5月6日
3	<p>【3号機燃料取出し用カバーエリア放射線モニタ(ch. 1)のヒューズ切れについて】 当社社員が、5月1日の地震発生の際、3号機燃料取出し用カバーエリア放射線モニタ(ch. 1)の「機器故障」警報の発生を確認。 現場確認により、エリア放射線モニタ(東側)監視ユニットにて指示値が計測範囲下限を超えており、故障表示、および、検出器伝送エラーが点灯していることを確認。 3号機燃料取出し用カバー内に設置してあるch. 1の検出器収納箱を調査したところ、光伝送器のヒューズが切れていたので交換し、光伝送器が復旧したことを確認。</p>	GⅢ	5月1日